

フリーフィンギング資料 「2011年 K耐久/GT耐久東海シリーズ 第3戦」

- 1)各チーム代表は事前にチーム員に伝達下さい。 初参加のドライバーには特に注意下さい。
- 2)初参加のチーム、ドライバーの方は、必ず事前に旗(フラッグ)の意味を理解しておいて下さい。
旗(フラッグ)の意味は、FIA/JAFの競技規則と同様になります。

項目	内容
フリー走行(予選)	フリー走行はラスト5分のみタイム計測を行い、この計測結果で決勝のグリッド順を決定します。
	つきましてはフリー走行開始後は無理をせず徐々にペースを上げて下さい。
	フリー走行は、タイムスケジュール上の終了時刻2分前にチェッカーが振られます。
	よってタイム計測開始は、タイムスケジュール上の終了時刻約7分前からとなります。
	タイム計測開始となる際にはメインポストにてグリーンフラッグを振ります。
	フリー走行終了後は、自己ピット前に戻って待機下さい。
	予選結果はフリー走行終了後5分ほどで、5、10、15ピットの柱と事務所横に掲示します。
	決勝グリッドは2×2となり、1位が1列目の右側、2位が1列目の左側、3位が2列目の右側……となります。
	予選結果から、各チーム何列目のどちら側か計算し、コースイン時にチーム員が誘導下さい。(グリッド表は出ません)
	予選結果発表後、すぐに決勝コースインとなりますので第1ドライバーは乗車してスタンバイ下さい。
グリッド	車両が決勝のコースインをしたらチーム員はコース上に出て、自車をグリッドに誘導して下さい。
	予選後タイヤやピットスタート車両のポジションは空きグリッドとなりますのでご留意下さい。
	コース上に出る時は、プラットホーム中央のゲートか、壁の前側か、後側を通り、壁を乗り越えないで下さい。
	「3分前」ボードが提示されたら、全員グリッド上から退出下さい。
	スタート時はプラットホームへの立ち入りは禁止です。全員ピットかピット上に移動下さい。
	「1分前」ボードが出たら、全車エンジンスタートして下さい。
	メインポストでグリーンフラッグが振られたらローリング開始となります。
	ローリング走行が開始されたら、セーフティーカー(SC)に先導されて、前の車との間隔は5台分以内で走行して下さい。
	ローリング走行中に前車とあまりに間が空いている場合はペナルティーとします。
	ローリング走行が1周終了したらSCがピットインし決勝スタートとなりますが、追い越し可能なのは計測ラインから先です。 計測ラインは管制塔の前にある白線になります
ペナルティーについて	ペナルティーの種類 ドライビングスルーペナルティー……対象車両には、メインポストで「D」ボードと「ゼッケンボード」を提示します。 提示された車両は、ピットインして40Km以下でピットロードを通過して下さい。 ペナルティーストップ……対象車両には、メインポストで「P」ボードと「ゼッケンボード」を提示します。 提示された車両は、ピットインして1番ピット先の左の白枠(ペナルティーストップエリア)に停止して下さい。 オフィシャルから「忠告」、「1分停止」、「3分停止」いずれかの指示が言い渡されますので従って下さい。 いずれのペナルティー時も、自己PITには停止できません(ピット作業はできません)。 またPITイン回数にはカウントされません。
	ペナルティー対象となる 主な 行為(下記以外にもペナルティー対象はあります) ドライビングスルーとなるもの ・黄旗時追い越し ・赤旗時追い越し ・ピットロード速度違反 ・青旗無視 ペナルティーストップ(忠告)となるもの ・ホワイトラインカット ・運転席窓開き走行 ・ハザード走行 ・危険走行 ・ピットストップ(3分)となるもの ・PITエンド信号無視 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 20px;">ただしレース残り時間が僅かとなり、ペナルティーを課す時間が無い時は、リザルトから周回(1周又は3周)を減算することで対応する場合があります。</div>
ペナルティーストップ	ペナルティーストップ表示を3回無視した場合は失格扱いとなります。(メインポストを4回通過したらアウト)
	ペナルティーストップが出されたら、ピット委員からチームに連絡しますので、各チームでもペナルティーストップが出た旨をドライバーに伝えて下さい。
	「ペナルティーストップ」を受けた場合は、ペナルティーストップエリアに停止してオフィシャルから指示を受けて下さい。 (自己ピットでチーム員から違反内容聞いて、そのままコースインした場合は無効となりますのでご注意ください)
ピットインのルール	ピットロードは制限速度40Km/hとなっています。速度計測を実施し違反車両にはペナルティを課します。
	ピットインには、「義務PITイン」と「作業PITイン」がありますのでレギュレーションを熟読下さい。
	ピットエリアで水をかけるような行為は緊急時以外はやらないで下さい。(噴霧器はOKとします)
	「義務PITイン」の場合、
	タワー通過後に左レーンに入り、21番ピット前で「タイムカード」をもらい自己ピットに向かって下さい。
	タイムカード受け取り場所は渋滞することありますが、これは運ですのでご了承下さい。
	カードをもらわなかった場合、「義務ピットイン」回数としてはカウントしません。
	自己ピットに止まったら、近くにいるオフィシャルにカードを渡して下さい。
	ピットアウト時刻の指示をオフィシャルにしてもらって下さい。時刻はオーロラビジョンの時刻を使用します。 義務ピットイン回数は3H耐久では3回、4H耐久では4回が義務付けです。チェッカーまでに義務回数のピットアウトをしないと失格となります。
	「作業PITイン」の場合、
右レーンをずっと走行し、タイムカードは受け取らずに、自己ピット前で左に入って下さい。	
コースイン時はピットエンドの信号に従って下さい。信号無視はペナルティーとなります。	
コースアウト車両の処理	コースアウト車両が発生し自力で脱出が出来ない場合で、レースの進行上危険と判断された場合は
	赤旗中断により競技を一時中断し、車両をレッカー移動します。
	赤旗要素となり洗車場に移動された車両は、ピットロード復帰時には「義務ピットイン」は使えません。
	赤旗時の運営ルールはレギュレーションを確認下さい。

ブリーフィング資料「2011年 K耐久/GT耐久東海シリーズ 第3戦」

セーフティーカー	コース清掃等、赤旗提示をするまでの必要が無い場合、SCを入れてペースをコントロールする場合があります。 SCが入る場合は、各ポストで「黄旗提示」と「黄色信号が点滅」され、同時に「SC」ボードを出します。 SCボードが提示されたら、各車の速度が落ちること、ピットロードからSCが出てくることを予測下さい。 SC導入中は全コース追越禁止となります。またSCを追い越すことも禁止です。 SCは基本的に暫定トップ車両の前に入りますが「うまく入れなかった場合に限り後続車に追い越しの指示を出して先に行かせる場合があります。指示された場合のみSCを追い越して下さい。」
使用ポスト	今回のレースで使用されるコースポストは、「メイン」「2番」「4番」「6番」「8番」となります。 ポストの場所がわからない方はブリーフィングで説明しますのでご確認願います。
赤旗について	赤旗時の運営の詳細はレギュレーションの「赤旗時の運営方法」に記載されていますので、そちらを熟読下さい。 赤旗時のポイントだけ解説しますと、赤旗提示後は全車ストレートの右側に寄って停車となります。 各ポストで赤旗を見た車両は徐々に速度を落とし(追い越し禁止)ストレートのスタートラインを先頭に停車下さい。 ただし、メインポストで初めて赤旗を見た車両は追突を防止するためにメインポストを通過して、1周してからストレートで停車下さい。
黄旗について	黄旗は、「コース上あるいはコースわきに危険箇所有り、速度を落とせ。」という意味です。 黄旗が出たポストから追い越し禁止となります。その後のポストで緑旗が提示された地点から追い越し禁止解除となります。 黄旗が出ている時に、マシントラブル等で低速走行となった車両は左ウインカーを出してキープレフトで走行して下さい。黄旗中でもこの車両を追い越すことは認められません。
白旗について	低速車両(故障車、作業車両等)がコース上にいる場合に振られます。 白旗提示時は追い越しはOKです
青旗について	2011年第2戦より、決勝において青旗を使用致します。第3戦でも使用致します。 当レースにおける青旗の意味は「自分を追い越そうとしているより速い車両に進路を譲れ」となります。 青旗を提示された車両は、なるべく早い機会を捉えて後続の車両を先行させなければなりません。 青旗提示後も進路を譲る行為が見られない場合、当該車両について「ドライビングスルーペナルティ」を提示します。 <u>全ての追い越しが発生する場面ではなく、管制ポストが青旗の提示が必要だと判断した車両と場面においてのみ青旗を使用します。</u> 後方から速い車両が接近した場合は、青旗を提示されなくても早い機会に先行させるようお願い致します。
オーロラビジョン表示	当耐久走行会においては、オーロラビジョンに表示されるコメントは「参考」扱いとします。 オフィシャルの旗が最終的な効力を持ちますので、基本は旗の表示に従って下さい。
給油のルール	ピット内に置けるガソリンの量は、消防法の関係上20Lまでとなっています。パドック、サービスカーに分けて保管下さい。 給油中は、ドライバー交代以外の全ての作業は禁止です。(空気圧チェック、車載ビデオの操作、窓拭き等も禁止) 給油の横で、消火要員が消火器を持ち、給油口に向けて構えておいて下さい。 給油者と消火要員はフルフェイスヘルメット着用。ジェットヘルの場合はフェイスマスクを着用して下さい。 給油量は1回あたり20Lまでです。
車検合格ステッカー	晴天の場合、右側フロントフェンダー上部の後ろに貼ります。 雨天の場合、フロントガラス右側の内側に貼ります。 車検合格ステッカーには、ハンディー換算後の「義務PITイン時間」が書いてあります。 所定の場所にステッカーが貼ってない場合はPITイン時間10分でカウントさせていただきます。
クラス識別ステッカー	K耐久に限り、クラス識別の色ステッカーを「フロントガラス上部」と「リヤガラス(上部、下部問わず)」に貼って下さい。 色ステッカーはレース当日の受付で配布したものを使用下さい。 前回のステッカーが貼ってあるチームは、そのままご使用下さい。
ライトオン	第3戦でも天候にかかわらず、全車ライトオンと致します。ロービームでライトを点灯して走行して下さい。 車両規則において、ヘッドライトは正常に作動しないといけなくなっております。オルタネーターの容量が不足することのないよう車両整備をしてレースに臨んで下さい。
途中経過	毎時30分と00分頃になったら、オーロラビジョンに暫定の総合順位を掲示します。 併せて途中経過の紙を、約30分ごとに、5、10、15ピットの柱と事務所横に掲示します。
チェッカー	スタートの遅延や、途中で赤旗中断があった場合でも、チェッカー時間は午前レースは13:25、午後レースは17:00となりますのでご了承願います。 チェッカーフラッグはメインポストで降りますが、計測ラインは管制塔の前の白線になりますので、最終順位は計測ラインを通過した順となります。
レーシングアクシデント	レース中は接触等のアクシデントが発生は珍しくありません。故意でなくとも接触があった場合は、マナーとして相手チームにひと言あいさつに行くようにして下さい。ひと言が無いために、今後ずっと険悪なムードを続けることは決して得策ではありません。
無線機について	無線機の使用は自由ですが、アマチュア機は資格を持っている人しか使用できませんのでご注意下さい。 また、海外製(モトローラ等々)の無線機は、違法ですので絶対に使用しないで下さい。 第3戦でも電波管理局が調査に来る予定ですので、合法運営をお願い致します。
再車検	ノーマルクラスと、クローズドクラスの上位入賞車は、ゴール後に車両重量を測定します。

ブリーフィング資料 「2011年 K耐久/GT耐久東海シリーズ 第3戦」

	上位入賞車は再車検を実施します。
	作業指示の出たチームは、オフィシャルの指示に従い指定パドックで作業を行って下さい。